

裾野麗峰山の会			
山行報告書			
山行番号	NO. 1838	文・IK	写真・GT
日 時	2019/09/22 (日) 晴れ・15時～雨		
山 域	西丹沢＝河内川左岸・956m峰～石棚山稜・1210m峰		
コ ー ス	箒杉下駐車場7:20－河内川吊り橋－廃屋バンガロー－北西尾根－・956m 峰8:49－850m峰－最低コル10:25－・926m峰－縦走路11:4 8－石棚山稜・1210m峰11:50～12:37 (昼食)－箒沢公園キャン プ場13:52－駐車場14:10		
累計標高差	上り 箒杉約450m～・956m峰＝約506m 最低コル約800m～・926m峰＝約126m コル約930m～・1210m＝約280m 合計＝912m 下り 1210m峰～箒杉キャンプ場約500m＝約710m		
快適度	4 (5段階評価)＝・926m峰からやや藪あり、岩塊帯続く		
参加者	GT, IK, GM＝3名		

台風17号が九州から日本海に抜けていく天気予報で、午前中晴れの期待で決行。

6:00 新潟運輸下バス停にてGTの車に乗る。裾野でGMをピックアップ。

7:20 箒杉下駐車場。先客は1台。男女3名が準備していた。

トレイルランなのか荷物がとても小さい。

駐車場の反対側の河内川に下る道がある。そこを下ると、古い吊り橋があった。

GTより一人ずつわたるよう指示がでた。橋の鉄骨はさびで真っ赤。

足元の板は隙間だらけで、端のほうは破損し短くなっている。

板は一応結束しているようだが落ちそう。実際20mくらいの長さかもしれないが50mくらい長く感じた。



河内川吊り橋

西丹沢コテージキャンプ場を通過。廃屋で誰もいなくなった集落のようで不気味。

通過し終わったところで沢左岸を登り始めるがすぐに鹿柵に行く手を阻まれた。

(予定ルートは、沢右岸だった)鹿柵の柱を強引に倒し越えた。一応戻したつもり。

左右に堰堤を見て登る。先週の出だしより緩やかだと言いつつ。

が、その後 350m の登りは苦しかった。今日一番の一気に登りと心していたので乗り切れた。

8:49 ・956m 峰につく。先週ここで昼の休憩を取ったのに、北から入ってみると

なんだか見覚えがなかった。そこから戻って北へ。

緩やかなアップダウンで快適な尾根を歩く。尾根には立派なブナが多い。

男だけ3人だと無口な集団である。蝉も終わり、聞こえるのは鹿、

鳥の鳴き声、キツツキが木を突つづく音（かも？）。

960m 地点から下る。ここから 150m 下り、150m 登る予定。

しかし、850m で崖になり、直下できない。右のほうが緩やかなため

右から回ることにした。このゆるやかな尾根をつたって元のルートに

戻れば良いと思った。尾根はどんどんと下り、800m まで下ったところで

GPS を確認すると明らかにルートから外れていることが判明し、左の尾根に戻ることにした。

もうすでに急な沢のエリアに入っており、トラバースも大変だ。念のため2か所でザイルを使用した。



ヤブ沢支流に下降

ザイルの登場なんてバリエーションならでは。登り返しができそうな沢の

中央まで移動し、そこから急な岩肌の沢を3点確保でよじ登る。

沢の最後もザイルを使用。浮石が多く、こぶしくらいの石が次々と降ってくる。

目の前をかすめる。手と膝に軽くぶつかりそんなに痛くないのに、

びっくりして大きな声で「いたっ」と言ってしまった。

2番手のGMがあがりきるまでルートから外れてよけることにした。

ヘルメットが必要な場所だった。ザイルの順番を待っている間、

時々、「チリンチリン」と鈴の音が聞こえた。上にいる2人は聞こえないというので（後にGTは聞こ

えた）気のせいかと思ったが、ルートに戻るとそこには赤い帽子的ソロ登山者が不思議そうに見降ろし

ていた。



F氏

その方も同じ尾根を来たとのこと。このルートは初めてではなく、  
私たちが右に行ったところを左に少し下りて崖を回避してこのコルまできたらしい。  
この何週間か西丹沢のバリエーション続きだが、  
他の登山者に会うことはなかった。

世の中には、こんなところが好きな方もいるのだ（私たちを含めて）。

この方は、「横浜わらび山の会（労山）」の会員とのこと。

いつも変なところをいくのでだれも一緒に行ってくれないとぼやいていた。そうか、私たちはそんな変なところに行く「酔狂なグループ」なのだ。（先週の我々の中川橋から来たといった）



F氏

850mから926mまで75m登った後は、しばしアップダウンの少ない尾根をのんびり歩く。  
いや、のんびりは登っていなかった。

ただ、さっきまでのザイルを使うような場所でのドキドキ感がないから、心は穏やか。  
この後、930mから1210mまでの約280mの登りが待っているので心の準備はしていた。

先頭はGTで、特徴のない尾根のどこを歩くか

ルートファインディングをしてもらえるので安心してついていける。

自分が先頭だと、どこを歩こうかキョロキョロばかりして時間がかかる。

やがて、一般登山道（石棚山稜）の境界を示すロープが見えて・1210m（ヤブ沢ノ頭？）に到着。

全員、安堵のため息・・・（ヤブ沢源頭は、・1210m峰の東にある）

11:50~12:40 昼休憩。やってきました。「アあああ〜、ビアター〜〜イム」。

間もなく、先ほどの「横浜・わらびの会」福島氏通過。GTから「下りは一般道」との声で、  
ほっとする。これで足を置く場所に神経を使うことはないし、登り返しもない。

当初の予定では来た途中の・926mまで戻りバリエーションの下りだったが、  
その場合、足場の悪い登り返しもあり嫌だなと思っていた。



石棚山稜

下りで使った一般道は踏みあとは、あまり見られないので、利用者が少ないようだ。  
丸太の階段も多い。GTの下りは速く、すぐに姿が見えなくなる。  
途中、尾根をグングン下っていたら、左へ折れる場所の看板を見落としそうになった。  
わかりづらい場所だった。一般道で下っても大汗をかいた。楽なことはない。  
100m10分のペースで下った。



・ 1 2 1 0 m

板小屋沢に出る。沢の水が気持ちよさそうで、顔を洗いたい気持ちでいっぱいになる。  
1度チャンスがあり、すばやく顔に水をかけた。

「きもちいいー」。堰堤を越えるため、はしごが数か所あり。石の上を飛び、沢を渡る。  
大石キャンプ場を通過。箒沢公園橋は行きとは違いがっしりした橋で、  
これを渡ってゴール。アスファルト道路を歩き駐車場に戻る。

恒例となった「時之栖ホテル」の日帰り温泉(600円)で汗を流し、  
反省会はなしでおとなしく帰宅となった。温泉を出たころパラパラと雨が降ってきたが、  
山の中で降られずよかった。今回も「やっぱり刺激的な山」でした。

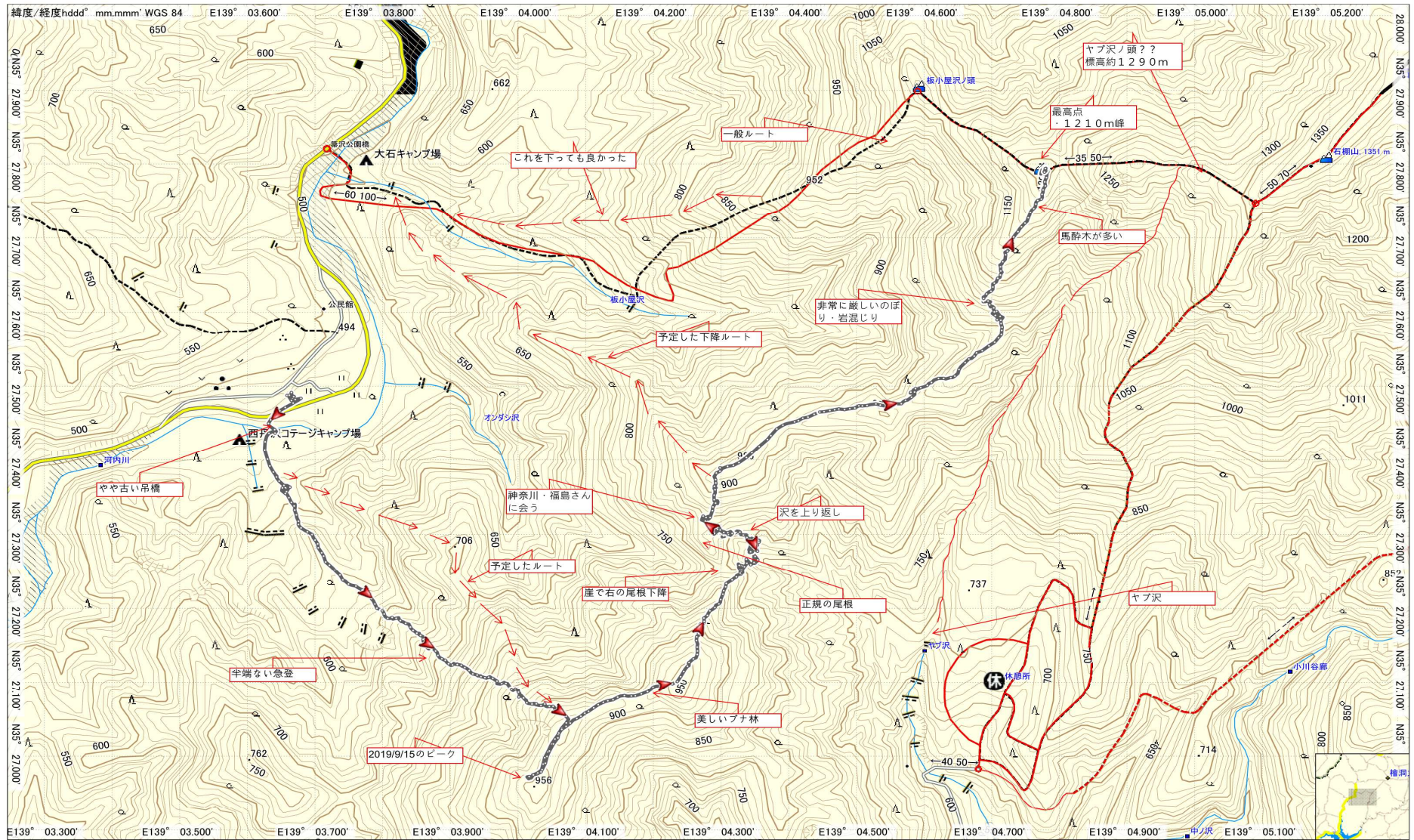


板小屋沢



箒沢公園橋





Japan Topo 10M Plus V3  
Copyright © 2018  
Garmin Corporation 1989-2014

2019/09/22 18:06:42

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN

2019/01/01